

薬剤部

(原著論文：症例報告を含む)

Nishigaki T, Kato H, Sakamoto Y, Suzuki T, Kaneko M, Ide K, Okamura N, Suzuki T, Koike H, Sahashi Y: Comparing the Dosing Period in Package Inserts of Antimicrobial Agents Between Japan and the United States. Cureus, 15(4): e38266, 2023.

(総説)

井出和男, 小池博文: 持参薬管理とリスク評価. 薬事, 65(13): 26-30, 2023.

(学会等発表)

小池博文: 医薬品フォーミュラの導入と活用事例. 近畿薬剤師合同学術大会 2023, (WEB開催), 2023, 2.

坂本靖宜, 長谷川拓也, 森谷拓海, 宇山佳奈, 清水絢子, 小森智也, 川邊桂, 小池博文, 佐橋幸子: ベンダムスチン 10 分投与法の導入が悪心・嘔吐発現に与える影響. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2023, 名古屋, 2023, 3.

渡邊直優, 坂本靖宜, 井出和男, 川邊桂, 小池博文, 佐橋幸子: 切除不能肝細胞癌に対するレンバチニブ初回投与量が服薬継続率に与える影響の検討. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2023, 名古屋, 2023, 3.

関 雅子: 保険薬局との情報連携に基づく持参薬管理体制の構築とその効果. 第 20 回かながわ薬剤師学会学術大会, 横浜, 2023, 5.

成田由紀, 関 雅子, 小池博文, 佐橋幸子: がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌に対してレンバチニブ+ペムブロリズマブ併用療法を施行した一例の副作用モニタリング. 第 20 回かながわ薬剤師学術大会, 横浜, 2023, 5.

志村美沙子, 横山りさ, 鈴木太一, 小池博文, 佐橋幸子: 自己点眼困難患者に対して薬剤師が介入した一例. 第 7 回日本老年薬学会学術大会, 福岡, 2023, 5.

川邊一寛: 医薬品情報×集中治療における予防的薬物療法－集中治療担当薬剤師の頭の中－. 第 25 回医薬品情報学会総会・学術大会, 京都, 2023, 6.

小池博文: フォーミュラの実際と今後～医薬品使用の標準化とその効果を考える～. 第 25

回日本医薬品情報学会学術総会・学術大会，京都，2023，6.

坂本靖宜，川邊一寛，田中利樹，川邊 桂，原 広司，小池博文，佐橋幸子，後藤隆久：タスクシフト・シェアの時間確保を目的とした日常業務に関する意識調査．日本病院薬剤師会関東ブロック 第 53 回学術大会，新潟，2023，8.

松井周一，後藤洋仁，阿部希和，古家直子，小森智也，小池博文，佐橋幸子：治験における注射剤調製の複雑さについて．第 23 回 C R C と臨床試験のあり方を考える会議，岡山，2023，9.

長井絵里奈，小森智也，山本紗代，小池博文，山西純，栗田大輔，林弘明，池田順治，辻本信一，竹内正宣，田野島玲大，柴徳生，伊藤秀一，畑千秋，小林瑞穂，歌野智之，佐橋幸子：多職種連携により携帯型精密輸液ポンプを用いてブリナツモマブの外来投与が可能となった 3 症例．第 50 回日本小児臨床薬理学会学術集会，大阪，2023，9.

島村千陽，坂本靖宜，長谷川拓也，榎木裕紀，松元一明：同種造血幹細胞移植後にポサコナゾール腸溶錠の血中濃度が低値を示した一例．第 70 回日本化学療法学会東日本支部総会・第 72 回日本感染症学会東日本地方会学術集会合同学会，東京，2023，10.

岡野真澄美，小森智也，小池博文，佐橋幸子：新生児への薬剤経管投与に係る通過性評価および改善策の検討．第 33 回日本医療薬学会年会，仙台，2023，11.

吉友葵，坂本靖宜，川邊一寛，畠山成寛，井出和男，小池博文，佐橋幸子：経口抗がん剤の C Y P 3 A の薬物相互作用に関する調査．第 33 回日本医療薬学会年会，仙台，2023，11

坂本靖宜，川邊一寛，田中利樹，川邊桂，原広司，小池博文，佐橋幸子：日常業務・キャリアプランに関する病院薬剤師の意識調査における専門・認定薬剤師の視点．第 33 回日本医療薬学会年会，仙台，2023，11.

重村明香，坂本靖宜，井出和男，長谷川拓也，渡邊直優，畠山成寛，西垣哲太，川邊一寛，鈴木智代，榎木裕紀，田口和明，小池博文，加藤英明，松元一明，佐橋幸子．ポサコナゾール上市後の抗真菌薬使用状況とカンジダ血症の原因菌種．第 33 回日本医療薬学会年会，仙台，2023，11.

小泉宏史，宇山佳奈，坂本靖宜，川邊一寛，長谷川拓也，中村明日香，畠山成寛，清水 絢子，井出和男，小池博文，佐橋幸子．大腸癌における抗 V E G F 抗体の使用調査と医薬品費

に与える影響. 第 33 回日本医療薬学会年会, 仙台, 2023, 11.

川邊一寛, 畠山成寛, 中村明日香, 若杉正, 小池博文, 佐橋幸子. 酸分泌抑制薬の病院フォーミュラリ導入後の推移と効果の検討. 第 33 回日本医療薬学会年会, 仙台, 2023, 11.

中川ちひろ, 井出和男, 濃野乃文, 小池博文, 佐橋幸子: セット入力による持参薬の代替提案導入後のタスクシフト/シェアの効果. 第 33 回日本医療薬学会年会, 仙台, 2023, 11.

筒井千晴, 横山千紘, 川邊一寛, 松本真琴, 岡村央, 小森智也, 小池博文, 佐橋幸子: イノラス配合経腸用液服用における血清カリウム値上昇に関する検討. 第 33 回日本医療薬学会年会, 仙台, 2023, 11.

小池博文: 我が国における医薬品フォーミュラリの展望. 第 33 回日本医療薬学会年会, 仙台, 2023, 11.

荒井幸子: チーム医療における薬剤師の役割. J DDW2023, 神戸, 2023, 11.

(その他)

小池博文: 神奈川県の後発医薬品使用状況分析と医薬品フォーミュラリの活用. 令和 4 年度神奈川県後発医薬品使用促進協議会, 横浜, 2023, 2.

小池博文: 医薬品フォーミュラリの導入と活用事例. 第 23 回台原地域医療連携公開勉強会, 仙台, 2023, 6.

関雅子: 次世代の命を担う薬剤師ー妊婦・授乳婦専門薬剤師ー. 日本病院薬剤師会新人研修, 東京, 2023, 7.

坂本靖宜: 医療基礎知識 薬を知って上手に付き合おう. 令和 5 年度ウィリング横浜主催研修, 横浜, 2023, 7.

坂本靖宜: 新薬紹介 バレメトスタット・ダリナパルシン. 日本臨床腫瘍学会 Essential Seminar Neo 2023(WEB 開催), 2023, 7.

小森智也: 高齢者膀胱癌の治療戦略について (ディスカッサント). 第 3 回 Kanagawa GI Oncology Seminar (WEB 開催), 2023, 7.

小池博文：地域フォーミュラリ導入を考える～ジェネリック及びバイオシミラー院内採用、そして病院フォーミュラリ策定における薬剤部・薬剤師としての存在意義～. 宮崎, 2023, 8.

関雅子：横浜市大病院の持参薬への取り組み―地域保険薬局との情報共有体制の構築とその効果―. 横浜市立大学附属病院薬剤部・平塚中郡薬剤師会 合同薬薬連携研修会, 平塚, 2023, 9.

小池博文：医薬品フォーミュラリの実際と今後の展開. 横浜市立大学附属病院薬剤部・平塚中郡薬剤師会 合同薬薬連携研修会, 平塚, 2023, 9.

清水絢子：Taiho CINV Seminar in 横浜市南部、横須賀三浦（ディスカッサント）. 横浜, 2023, 9.

渡邊直優：慢性肝炎治療と薬剤部の取り組み. 肝疾患コーディネーター養成講座更新者向け (WEB 開催), 2023, 10.

小池博文：バイオシミラーにかかる政策と院内浸透のコツ. 第 77 回国立病院総合医学会ランチョンセミナー, 2023, 10.

清水絢子：がん患者さんの処方箋をもらったら検査値を読み解くポイント. 外来がん化学療法 の質向上の為の薬薬連携セミナー in 金沢区, 横浜, 2023, 11.

坂本靖宜：制吐薬適正使用ガイドライン 2023 を踏まえた制吐薬の使い分け. CINV Web Seminar(WEB 開催), 2023, 11.

小池博文：我が国における医薬品フォーミュラリの展望. 第 2 回地域フォーミュラリ研修会, 和歌山, 2023, 11.

小池博文：医薬品フォーミュラリの実践～バイオシミラーも含めた考え方と取組事例、そして地域へ～. 第 2 回東総エリアの薬薬連携を考える, 2023, 12.